

鹿児島流

# 熱いハートの医師 育てます



ハートロック（奄美群島） 写真協力：公益社団法人 鹿児島県観光連盟

## 私の臨床研修医時代

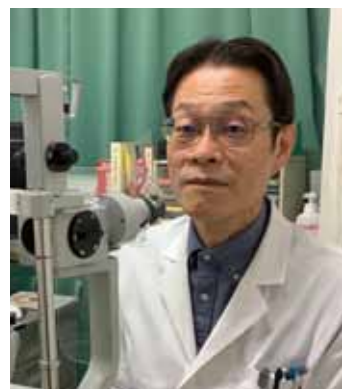
総合病院鹿児島生協病院  
副院長ふくやど  
福宿こうえい  
宏英

出身校 伊集院高校▶鹿児島大学

私は1985年に鹿児島大学を卒業しましたが、医学生時代に鹿児島民医連の医療活動に共感し参加したいと思い、6年時に同じ意志を持つ同級生らと何科を分担するか話し合って眼科を選びました。訳あって特に眼の感染・免疫・炎症疾患を学ぼうと思い、夏休みに見学に行き好印象だった徳島大学眼科に入局しました。

軽自動車に入るだけの生活用具とともに単身で四国に渡り、最初はアパート探しからでした。まだ遊ぶ友人もいないので時間外にすることもなく医局に居残り、眼科救急疾患の処置技術を早く習得したいと思い、指導医が眼科当直のときは一緒に泊まり込みました。また動物実験研究のサポートとして、夜中でも2時間おきに点眼や診察（マウスやラットの眼底を観るのです！）をすることもありました。教授の鞆持ちとして厚生省のパーチェット病研究会の片隅に立てたことも貴重な経験でした。

目的を持って研修すること、研修しながらやりたいことを見つけること、どちらでも良いと思うので積極的にいっぱい経験を積んで下さい。



出身地 日置市

## 指導医の思い出



出身地 指宿市

たけだ あや  
武田 亜矢

出身校 鶴丸高校▶鹿児島大学

勤務先▶鹿児島大学病院

初期研修1年目の1発目、みんなが内科から回って基本的なことを習得するところ、私は第2外科からスタートしました。指導医達は何でこう判断したか分かるか？、何でこの準備が必要だと思う？と表面的なことで終わらず、とことん付き合ってくださいました。夜のカオスタイムにうだうだ一緒にカルテを打ちながらの耳学問や、小腹が空いてトーストを焼いては医局を焦げ臭くさせたことなど今でも思い出します。

私は呼吸器外科に入局し、気付けば指導医の立場になりました。忙しい中での指導や、手技をさせる大変さなど、改めて感謝します。恩返しは後輩を育てることと思ひ、あの指導医達に少しでも近づけているか自問自答しながら、日々奮闘中です。



出身地 鹿児島市

とくひさ たくや  
徳久 琢也

出身校 甲南高校▶鹿児島大学

勤務先▶鹿児島市立病院

周産期に興味があった私は、産婦人科を志望しました。分娩では、母体と新生児の両方に関わるため、初期研修の4ヶ月目から鹿児島市立病院の新生児センターで研修を始めました。それまで、成人の症例しか経験したことがなかったので、人工呼吸器による呼吸補助を受けている500g未満の赤ちゃんから、黄疸治療中の3000g超の赤ちゃんまで様々な疾患の100人近い赤ちゃんたちが入院している新生児センターに戸惑いを受けたのを覚えています。

私がオーペンの先生から最初に教えていただいたことは、理学所見の取り方と生理学的思考でした。理学所見、検査結果を生理学に基づいて診断することで、多様な疾患の裏にある赤ちゃんの全身状態がシンプルに理解できるようになり、戸惑うことがなくなりました。初期研修の時期には多種多様な疾患を経験すると思ひます。ぜひ理学所見、生理学的思考を行う癖を身につけてください。今後の診療に必ず役に立ちます。



出身地 鹿児島市

ゆだ たくま  
湯田 琢馬

出身校 鹿児島修学館高校▶帝京大学

勤務先▶いまきいれ総合病院

大学卒業後にたくさん症例を経験したく、医師不足の埼玉県で研修をしました。年間1万台弱の救急車を研修医数人と指導医で回し、多くの経験を積みました。その後指導医と復習したり、自己学習して臨床能力として身につけていきました。結果的に、私は2年間で800台の救急車を診ました。

また、完結的医療の病院だったため、その後の入院管理や退院後の生活を考えたうえでの退院調整も行いました。現在も総合診療科医として経験を臨床に活かしていると思ひます。経験したことがある症例は、初めて経験する症例よりも幅広い対応が出来ます。また、指導医や病院の研修医を育てようという雰囲気は大事だと考えております。現在は指導医として、多くの研修医の医師としての基礎から応用力まで育てようと頑張っております。どんな症例でもある程度対応出来る力を身につけられるよう手助け出来ると嬉しいです。



出身地 鹿児島市

は せがわ すすむ  
長谷川 将

出身校 鶴丸高校▶鹿児島大学

勤務先▶霧島市立医師会医療センター

私の時代は大学卒業後即入局の時代で、ゆっくり研修しながらやりたいことを見つけるなど余裕はなく、学生時から内科系か外科系かを決めておく必要がありました。直前まで迷った挙句、内科系を〜と当時大人気の鹿児島大学旧第二内科に入局しましたが、人気が故同期は30人を数え、附属病院の受け持ち患者数が少なく、もっと患者を、もっと経験を、もっとお金を〜と飢えていた記憶があります。皆様は少なくとも経済的問題を気にする必要のない環境にあります。

先輩からの助言として、まずは患者さんと密に接し情報を聞き取る技術や気持ちを理解するスキルを向上させ、指導医や先輩方のアドバイスに聞く耳をもち、自らの足で動きましょ。

# 研修医の声



出身地 鹿児島市

しらいし  
白石 ゆり

出身校 鶴丸高校▶山口大学

研修先▶鹿児島医療センター

鹿児島医療センターでの初期研修が11か月目に入りました。各科の先生方、看護師さんやコメディカルの方々、研修医の先輩や同期の9名、そして患者様に深い感謝の毎日です。それぞれの診療科の疾患についてはもちろんのこと、診察や基本的な手技、緊急時の対応、病棟管理やICについて、そして患者様とのコミュニケーションの取り方で、とても丁寧にご指導いただき、本当に多くのことを学ばせていただいています。現場においてもですが、たゆまぬ努力を続けられている先生方の姿に頭が下がります。未熟な私ですが、これからも患者様の救われを祈らせていただき、感謝と笑顔をもって、精進努力を重ねてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



出身地 鹿児島市

たかはし あい  
高橋 亜衣

出身校 鶴丸高校▶久留米大学

研修先▶南風病院

これを執筆している週の週末に第117回医師国家試験が実施されると聞き、もうそんな時期なのかと驚き、懐かしく感じる。と同時に、あのころから自分はどう変わったのだろうと考える。南風病院で研修医として入職し、7つの診療科で研修させていただいたことで一つ明確に言えることは、「患者さんを観察することができるようになった」と思う。ここでいう観察というのは、患者さんの主訴の原因を、身体診察や検査所見で見つけようとすることである。入職当初は手技や指導医との話で手一杯になってしまい、患者さんを見て観察することまでは行きつかないことが多々あった。最近は手技も少しずつ慣れ、患者さんをきちんと観察できるようになったと思う。もちろんまだ出来ないことも多いが、少しずつ前に進めているのではないだろうか。今後も患者さんに寄り添える医師を目指して日々努力していきたい。



出身地 宮崎県

いじり ただよし  
井尻 忠良

出身校 宮崎第一高校▶熊本大学

研修先▶鹿児島市立病院

研修が始まり早くも1年が経とうとしています。初期研修を初めての土地で過ごすのは少し心配していましたが、温かい指導医・スタッフの方の援助もあり、日々充実した研修生活を送っています。他同期14人の志も高く、日々学んだことを教え合える環境に恵まれています。また、どの診療科研修でも、病棟業務や手術、外来補助、救急当番などを経験させて頂き、毎日が新しい発見の連続です。脳神経内科では、指導医から地方会発表のお誘いを頂きました。私が作成した拙いスライド案に対して何度も校正のアドバイスを頂き、丁寧なご指導のおかげで優秀演題賞を頂くことができました。医師としてはまだまだ未熟者であり、周りの方々に助けられてばかりです。4月からは後輩も入職してくるので、自分の知識をよりインプット・アウトプットして、レベルアップを図っていきたいと思います。



出身地 鹿児島市

なかえびす れい  
中夷 梨

出身校 ラ・サール高校▶鹿児島大学

研修先▶米盛病院

2022年4月に米盛病院初期臨床研修医1期生としてスタートしました。  
「1期生であることに、心配はないか。」等の声もありましたが、全く心配はなくむしろ楽しみでした。前例がない分、自分が米盛病院の初期研修をつくっていけると考えたからです。  
米盛病院は、救急科、整形外科を主軸としている病院です。救急科は「一秒を救う、一生につなぐ」という信念の下、救急の患者さんを受け入れています。外傷をメインとして様々な患者さんを診療でき、手技も数多く経験できます。また、プレホスピタル活動にも注力しており、民間救急ヘリ「Red wing」やドクターカーなどで医療資源の少ない場での医療も経験することができます。  
丁寧な指導の下、自分らしい研修を行っており、米盛病院で初期研修を行って心から良かったと感じています。これからも主体的に初期研修を行い医師としても人としても成長していけるよう精進します。

# トピックス



## 新たなイベントをスタートしました！！

令和5年1月より、県外医学生の病院見学をサポートする「ずんばい回ろう！病院見学アシスト！」を開始しました！皆さまの希望をもとに協議会事務局が見学希望先との日程調整等を行いますので、皆さんが病院一つ一つに申し込みを行う手間が無くなり、試験や実習に集中することが出来ます！旅費の補助もありますので、是非ご利用ください！

また、当協議会が従来行っていた「県外医学生等出前セミナー」もリニューアル！これまでは県外医学生が対象でしたが、今後は県内医学生も申し込み可能になりました！また、セミナーの内容についても可能な限り皆さまの要望にお応えして、指導医や研修医との交流の場をセッティングします！（初期臨床研修で初めて鹿児島に移り住んだ先輩研修医と話してみたい、〇〇科の指導医の先生から話を聞いてみたい、etc）

オンライン・対面の出前セミナー、どちらも対応しています。1人からでも申し込み可能ですので、是非当協議会までご連絡ください！

どちらのイベントも当協議会の公式Webサイトから随時受け付け中です！（ただし病院見学アシストは見学実施月に応じた申し込み締切あり）

皆さまの応募をお待ちしております！



## 指導医養成講習会を開催しました！！

令和5年1月7日（土）、8日（日）に、「第13回鹿児島県初期臨床研修指導医養成講習会」を開催しました。

受講者は、臨床研修制度や鹿児島県の地域医療の現状について、また、指導するにあたって必要な研修目標の立て方や評価の仕方、フィードバック技法など、16時間以上にわたってプライマリ・ケアの指導方法についての講習を受けました。

また、この講習会は厚生労働省の開催指針に則って実施しており、31名の修了者には厚生労働省医政局長名の修了証が授与されました。

当協議会では、研修医の方々がより良い環境で研修を受けられるよう、さまざまな取り組みを行っていますので、ぜひ安心して鹿児島で研修を行ってください！！



## 令和4年度第3回オンライン合同説明会を開催しました！！

令和5年2月に、県内のすべての基幹型臨床研修病院が参加し、オンライン合同説明会（Zoom）を開催しました。

県内外から数多くの医学生の方に参加していただき、コンシェルジュによる個別相談会と指導医・研修医・病院関係者から病院・研修プログラム内容の説明や研修医生活について説明してもらいました。

令和5年度も、当協議会主催でオンライン合同説明会を実施する予定です！詳細は決定次第、協議会公式Webサイト等にてご案内しますので、ぜひ御参加ください！！



## 鹿児島県初期臨床研修連絡協議会（事務局：鹿児島県 暮らし保健福祉部 医師・看護人材課）

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10-1

e-mail iryokaikaku-ishikakuho@pref.kagoshima.lg.jp

TEL 099-286-2581 FAX 099-286-5928

<https://kagorinsho.jp/>

